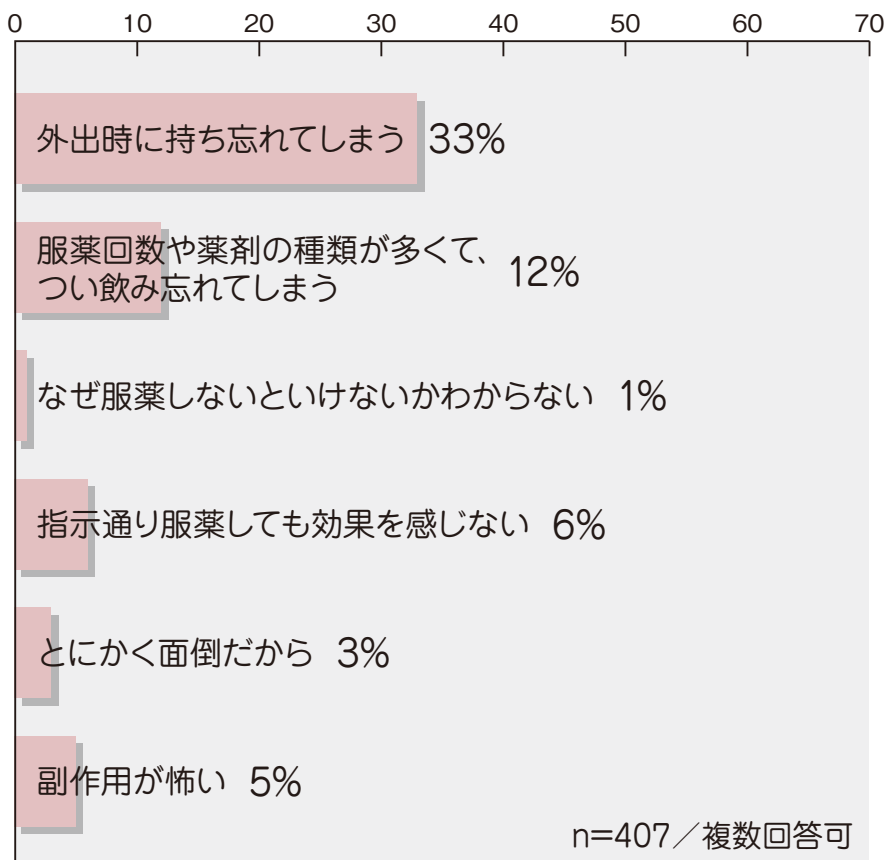


Q. 医師の指示通りに服薬しない(できない)理由は？



患者さんに、医師の指示通りに服薬できない理由を聞きました。「外出時に持ち忘れてしまう」は、医療スタッフの予想と同様、比較的高い結果となりましたが、服薬への認識については、医療スタッフの予想と大きな差が出る結果に。

医療スタッフの約半数が、服薬の指示を守らない理由として、患者さんが「服薬の意義を理解していない」からと感じていたのに対して、「なぜ服薬しないといけないかわからない」と回答した患者さんはたった1%しかいませんでした。また「服薬の効果」に対しても、医療スタッフの予想に反して、効果を感じていないと回答した患者さんは6%という結果に。医療スタッフが感じているよりも、実際には、患者さん自身は「服薬が大切だ」という認識をお持ちなのかもしれません。

一方、「配合薬」についての認知は、患者さんにはまだ十分に広まっていないようです。5割以上の患者さんが配合薬について「知らない」と回答。実際に服用経験のある

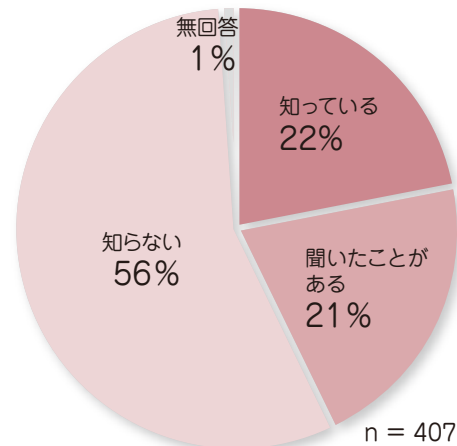
患者さんも15%にとどまりました。しかし配合薬を使ったことのある患者さんは「薬の種類が減った」「血糖の状態が改善した」「薬代が下がった」「飲み忘れが減った」という点を評価しており、こうした配合薬の利点について服用経験のない患者さんに説明すると、62%の人が「使ってみたい」と興味を示すことがわかりました。

患者さんに服薬指示を守ってもらうためには、服薬の大切さを啓発することはもちろん、「ついうっかり」や「外出時の持ち忘

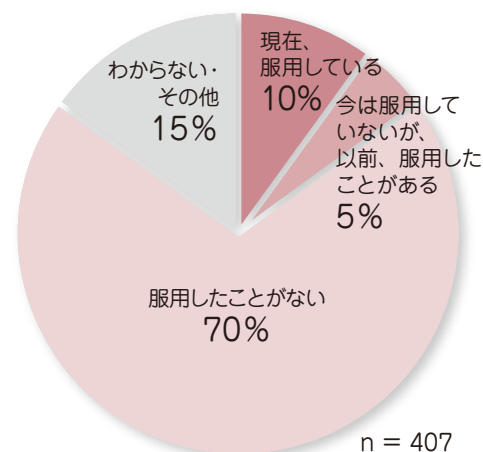
患者さんの自由記述より

- その日の体調（血圧や尿量）に合わせて減らしたりしている。
- 生活リズムが普段と変わると忘れやすい。
- 作用機序を理解したうえで変更している。必ず後日医師に「これで良かったか」は確認する。たいていはそれでも良いとなるが、たまにダメな場合がある。その時は作用機序を理解しなおす。
- うっかり、3カ月に1度ぐらい忘れます。
- 仕事の関係で時間通りに飲めない。
- 忘れ防止に朝、昼、夕と分包にしている。
- 後で飲むうと思っているとそのまま時間が過ぎていくことが多い。
- 数年に1度くらいは飲み忘れがあったとしても、意識的に飲まないことはないです。
- 飲むタイミングをキチンと決めていても飲んだかどうかを忘れてしまう。

Q. 配合薬をご存知ですか？



Q. 糖尿病の治療のために、配合薬を服用したことがありますか？



れ」を防ぐ具体的な対策を考えることが大切なのかもしれません。その点において、まだ認知が十分でないものの、配合薬にも期待が寄せられます。